

---

**すきでした。**

りーちゃん

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
すきでした。

【Nコード】  
N2456L

【作者名】  
リーちゃん

【あらすじ】  
実話です

ぜひ読んでください？

## 出逢い

私の名前は梨依（りい）

愛しいあなたと初めて出逢ったのは中学校でした。

これから私は中学生になる！

不安と期待を胸に登校した。

長い長い入学式も終わりみんなが各クラスに戻っていった。

人見知りか激しい私は緊張しながらクラスにはいった。

席に着いた途端

？「おはよう！」

と元気よく声をかけてくれたのは

隣の席の男子…

悠（ゆう）でした。

梨「お、おはよう…」

私はぎこちなく挨拶をした

この時君に恋をするなんて誰も知らなかった…

## バスケット部

あなたは口数が少ない私に何度も声をかけてくれた。

あなたは誰に対しても平等で面白くて明るい人でした。

学校生活にもなれてきた頃

私達はとても仲が良く

お互いからかいあいながら笑いあった。

この学校では必ず部活に入らなければならない。

私は前からしたかったバスケット部にはいった。

数日後：

部活ごとでの顔合わせ

そこにはあの隣の席の男子

悠がいた・

奇遇にも同じ希望だったのだ・その日は顔合わせだけで早く家に帰れた・

練習は明日からだ!!

## 練習

いよいよバスケット部としての練習が始まる…

初心者・経験者も同じメニューだ・

まずは校庭10周

筋トレ

坂ダッシュ

と全然ボールにはさわらせてくれなかった…

ただでさえ体力もない私達には苦痛であった・

これが2ヶ月以上も続いたのだ…

その頃男子はハンドリングと女子より先に基礎を練習してた

そして

女子がボールにさわれたのはそれから1ヶ月後のことでした

悠はもともと運動神経が良かった・

だから初めてだとは思わないくらい上手かった・



恋！？

バスケにも馴れてきた。

最近悠と一緒にいると心臓がドキドキする…

そーゆー感情が芽生えてきた。

恋などしたことがなかった私は全然気付かなかった…

恋だと気づいたのはそれから2週間ほどたった頃だった。

ある日の朝いつものように学校へ登校した。

普通の生活…

ではなくひとつ違つところが。

悠の席に女の子が座っていたのだ…

その子の名前はギャルの美亜

悠の彼女らしい

私はこの時心の奥に何かを感じた・

(これが恋…なのかな・?)

トイレに駆け込んで泣いた( < | > )

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2456/>

---

すきでした。

2010年12月29日19時07分発行